

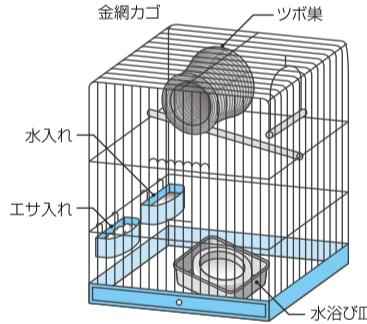
PET



ブンチョウの飼い方

カゴ

止まり木や餌入れがセットになっている市販の金網カゴを用います。それにツボ巣と呼ばれる壺のような巣箱、水浴び用の入れを入れてやります。水浴び用の水入れは水しぶきが飛ばないように空き缶などで覆いをしてやるとよいでしょう。

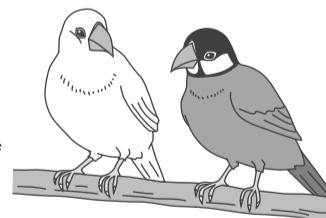


世話の仕方

インドネシア原産ですが、江戸時代には日本に入っているため、日本の気候に慣れており、飼いやすく、繁殖もしやすい小鳥。毎日、新鮮なエサと水を与えて、カゴを掃除する以外は特に手間がかかりません。掃除が終わったら、毎日、午前中のうちに2時間ほど日光浴をさせてやりましょう。

餌の種類と与え方

ヒエ、アワ、キビなどの穀物が配合されたフィンチ用というまき餌にコマツナ、ツマミミ、キャベツ、ハクサイといった青菜類と、ボレーフ (貝殻) を混ぜて与えます。最初から、ビタミン、カルシウムが配合されているまき餌ならば、単体でも育てられます。



繁殖のさせ方

繁殖期は秋から6月までで、生後半年くらいから卵を産みます。元気なオスとメスを同じカゴに入れたら、「アワ卵」という栄養価の高い繁殖用の餌を与えます。卵を産んで抱き始めたらアワ卵をやめ普通食に。約20日ほどで卵がえります。その間は、世話もカゴ底の掃除などは中止し、餌の交換など最低限にとどめて、静かにそっとしておきます。ヒナがかえったら、再びアワ卵を与えると、親がヒナに食べさせます。

手乗りブンチョウの育て方

卵からかえって15日~20日ほどたつたらヒナをカゴから出し、フゴというワラのカゴに移します。フゴは、中が30°Cくらいになるようにパネルヒーターなどで保温してください。餌は市販のすり餌を、最初は2~3時間置きに、ヒナが餌をねだるようになったら鳴くたびに与えます。その際、ヒナを手の上に乗せて、指かビンセットでヒナの口に入れてやるようにするとよく慣れれます。遊べば遊ぶほどよく慣れていい手乗りになります。ただし、この時期に驚かせると慣れにくくなるので注意。大きな音を出したり、急に手を動かしたりしないようにしましょう。



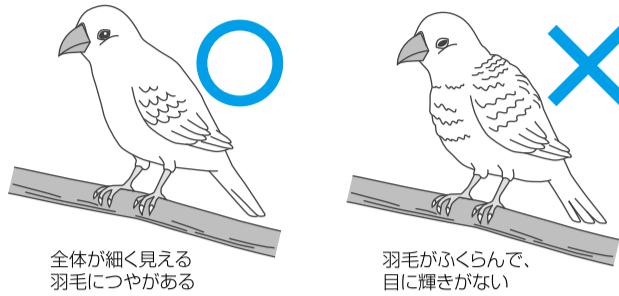
よい小鳥の選び方

ペットショップなどで小鳥を購入する場合、病気がない元気な鳥を選ぶことが大切です。信頼できるお店で、自分の目でもしっかりと見て選びましょう。

健康な小鳥を選ぶ

元気な小鳥は全体が細く見え、羽根にツヤがあり、何より、カゴの中で1日中飛び回っています。羽毛が膨らんでいて目に輝きがなく、目を閉じていたり、ゲリをしていたりして、あまり動かないような鳥は病気と考えられるので敬遠しましょう。

健康な鳥



大きな小鳥を選ぶ

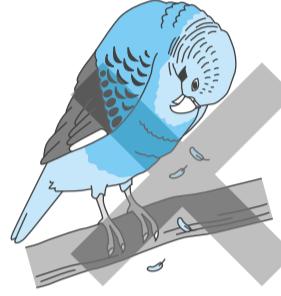
同じ種類の同じ年齢の鳥を見て、その中で、体ががっしりしていて、大きなものを選べば、丈夫に育てることができます。

若い鳥を選ぶ

卵をよく産むのは生後半年から2年位の間の鳥なので、繁殖を考えるなら若い鳥を選ぶことが必要です。若い鳥は6月から9月の間に売られています。

悪いクセがないものを選ぶ

自分の毛をむしるようなクセがあり、ほかの鳥にやたらに攻撃をしかけるような鳥、カゴや巣箱をかじるような鳥は避けましょう。



人になつきやすい鳥を選ぶ

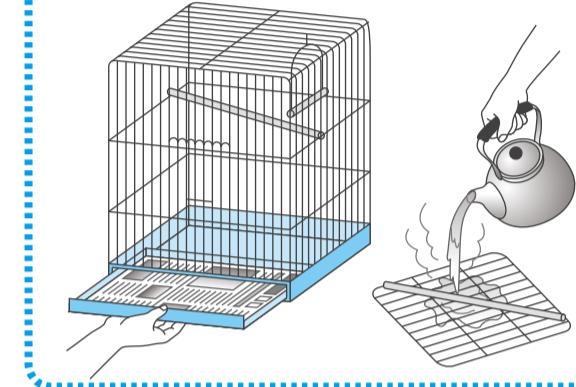
同じ種類の鳥でも、人に慣れやすいものと、そうでないものがいます。しばらく観察して、愛嬌がよい鳥を選びましょう。

小鳥との快適生活

One Point Advice

カゴの掃除の仕方

鳥類にはワクモなどのダニがわくことがあるので、カゴをいつも清潔にしておくことが大切です。ブンチョウやジュウシマツといったフィンチ類はとても汚るので毎日欠かさず掃除してください。セキセイインコなどはあまり汚しませんが、それでも2~3日に1度を目安に。日ごろの掃除は、鳥カゴの受け皿に新聞紙を敷いて、それを交換するようにすれば、楽にできます。また、2~3回に1度は、止まり木やカゴの底の網に熱湯をかけて消毒するとダニの発生を予防できます。

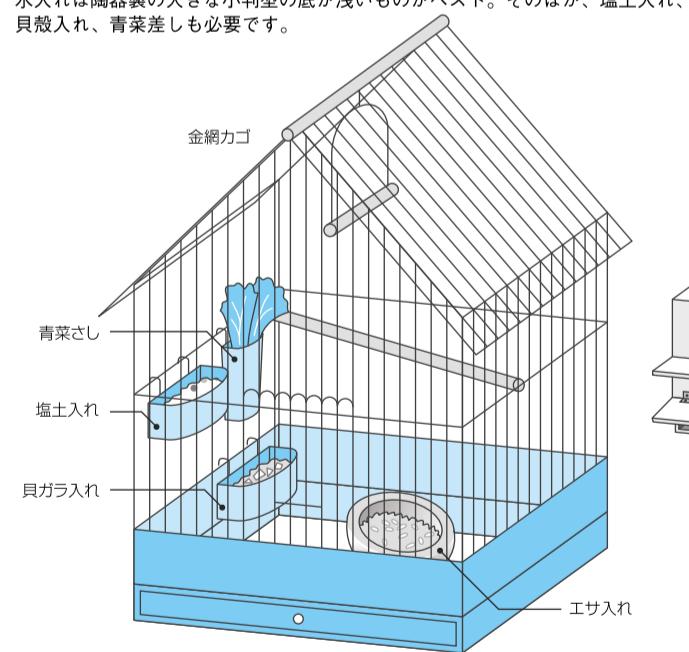


セキセイインコの飼い方

カゴ

飛び回るのが好きなので、できるだけ大きな金網カゴを用意してやります。普通のときは巣は必要ありませんが、繁殖をさせる場合は、セキセイインコ用の巣箱が必要です。これはけっこう大きなものなので、繁殖を考えているのなら、それが入る大きさのカゴを選んでください。

セキセイインコはクチバシが短いので餌入れに入って餌を食べます。餌入れ、水入れは陶器製の大きな小判型の底が浅いものがベスト。そのほか、塩土入れ、貝殻入れ、青菜差しも必要です。

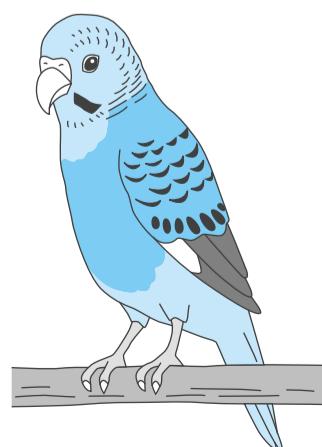


世話の仕方

餌入れに残っている穀物のカラを吹き落とし新しい餌を加え、水、青菜を交換します。セキセイインコはフィンチ類のようにカゴを汚さないので、週3回位の間隔で掃除をしてやれば十分です。日光浴をされる場合は、布をかけるなどしてカゴの半分が日陰になるようにしてあげましょう。

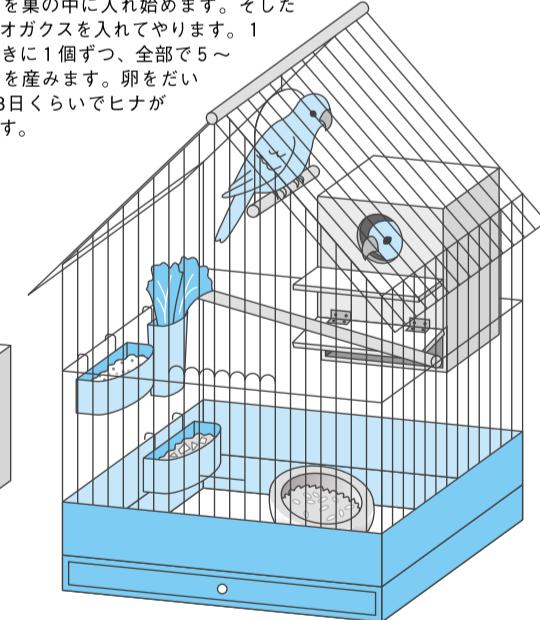
餌の種類と与え方

市販されているセキセイインコ用の配合餌を与えます。青菜はあまり多く食べないので、毎日、少しづつ与えています。キャベツの芯などを好んで食べます。物をかじる習性があるので、貝殻はやや大きめのものを。またイカの甲骨なども喜びます。ミネラル補給に塩土も与えてください。



繁殖のさせ方

生後半年過ぎくらいで卵を産むようになり、春と秋の2回、繁殖期があります。その時期になったら巣箱をカゴに入れてやります。繁殖用の餌は必要ありませんが、この時期は通常の餌にカナリーシードを少し混ぜて与えるとよいでしょう。産卵が近くなるとメスは巣箱をかじって、そのままガクスを巣の中に入れ始めます。したら巣箱にオガクスを入れてやります。1~2日おきに1個ずつ、全部で5~6個の卵を産みます。卵をだいでから18日くらいでヒナがかえります。



手乗りセキセイインコの育て方

卵からかえって15日ほどたつたらヒナをカゴから出し、フゴに移します。フゴは、中が30°Cくらいになるようにパネルヒーターなどで保温します。餌は市販のアワ卵を、食べる前に少し温めて与えます。クチバシが短いので。スプーンの上にのせて食べさせるとよいでしょう。しばらくしたら、アワ卵に貝殻、青菜を切ったものを加えて与えるようにします。ヒナがフゴから出るようになってもさし餌を続け、よく遊んであげるとなつきます。

